(別添3)

【丸森町】
校務DX計画

1. 目標

有効的なICTの利活用を推進し、校務DX化による業務改善を行うことで、時間外労働の削減、授業改善や児童生徒と関わるために充てる時間の増加を図る。

2. 現状

「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組む施策（提言）～教師の専門性の向上と持続可能な教育環境の構築を目指して～」(令和5年8月)においても述べられているとおり、ICTは教職員の長時間労働改善、働き方改革において重要な役割を果たすことから、学校のICT環境整備を進め、更なる活用を図る必要がある。

「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」(令和5年9月)での点検結果から、本町はクラウドベースの環境整備が行われていないため円滑な情報共有のための仕組みが整っていないこと、教職員間で活用スキルに差がありICTの活用が全体に浸透していないことが課題として挙げられる。

3. 具体の手立て

- ・職員会議等で使用する資料のペーパーレス化
職員会議の資料をデータで配付し、資料の印刷や配布にかかる時間と紙代、インク代を削減する。同じデータを共有することで各自でのファイリングが不要となり、端末があれば、場所を問わず必要な時に参照できる。

- ・FAXや押印の原則廃止など、校務手続きの見直し
学校と教育委員会間でのFAXや押印を完全になくし、電子上で完結するように仕組みを見直す。

- ・校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業をなくす
紙ベースと電子の出席簿を併用して児童生徒の出欠管理を行っている学校があるため、紙の出席簿を完全廃止して電子の出席簿のみにする。

- ・クラウド環境の利活用
クラウドツールを活用して、教育委員会と学校間での文書の回覧やデータでの書類提出をスムーズに行うことができる体制をつくる。表ツールを使用しクラウド上での格納場所、発出者、提出書類の期限、回覧・提出の状況について管理を行うことで、学校への情報共有が確実化・円滑化する。